

令和6年度「進路対策研究会」進路調査結果 一部抜粋(更新)

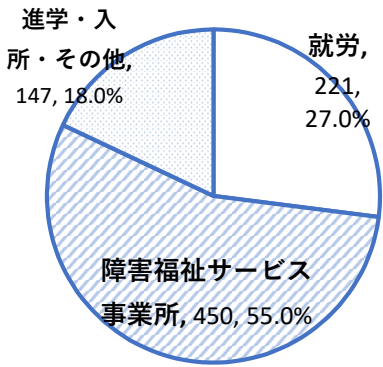
1. 特別支援学校等高等部卒業生推移・予測数 参照:資料1-1 P4

卒業年度	1982(S57)	2019(R元)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)	2032(R14)	2033(R15)	2034(R16)	2035(R17)
							現高3	現高2	現高1	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
卒業生(人)	123	808	817	723	778	819	835	777	771	1064	1129	1267	1532	1706	1982	2104	1890	1838

- * 中学生以下は、個別支援級と義務教育支援含む。ただし、令和5年5月1日の統計数字。
- ・ 例年特別支援教育が必要な児童・生徒が増えている。特に2032年の予測人数が1800名を超えている。今後も保護者や各関係機関、事業所等と連携し、将来を見据えた事前の準備が必要となる。
 - ・ インクルーシブ教育実践推進校やサポート校など新しい教育の場を選択する生徒の傾向に注視する必要がある。

2. 令和5年度卒業生の進路結果 参照:資料1-1 P6

<令和5年度進路先内訳> <進路先別推移>



	H29年度卒	H30年度卒	R元年度卒	R2年度卒	R3年度卒	R4年度卒	R5年度卒
就労	34.0%	31.6%	32.7%	30.1%	29.3%	28.5%	27.0%
進学・職業訓練	7.5%	8.2%	6.8%	8.0%	7.9%	11.7%	13.6%
入所施設	0.0%	0.4%	1.2%	0.7%	0.6%	0.4%	1.1%
重度通所 *1	2.9%	2.1%	1.6%	1.4%	1.9%	2.3%	1.4%
生活介護	14.9%	17.6%	17.3%	19.1%	18.0%	17.5%	14.3%
自立訓練 *2	1.2%	2.4%	2.1%	3.0%	2.8%	3.6%	2.8%
就労移行	9.8%	9.2%	9.0%	8.1%	9.7%	8.4%	9.1%
就A・就B	16.1%	13.8%	16.1%	19.6%	17.4%	18.3%	19.7%
作業所型	3.5%	5.3%	3.5%	2.6%	3.6%	2.2%	2.4%
活H	5.9%	4.3%	4.7%	3.5%	4.8%	3.2%	5.3%
その他 *3	4.2%	5.1%	5.0%	3.9%	4.0%	3.9%	3.3%

*1: 重度通所: 重度重複通所、*2: 自立訓練: 機能訓練・生活訓練 *3: その他: 在宅等

- ・ 令和4年度卒業生からインクルーシブ校が調査に加わったことにより進学が増加傾向にある。
- ・ 生活介護が減少し、就Bが増加している。就Bの実態の幅が広がったことが背景にあると思われる。
- ・ 令和6年4月より障害者雇用率が2.5%と引上げとなり、さらに令和8年より2.7%に引上げとなる。今後の就労の増減にどう影響していくか注視する必要がある。

<高校1~3年生時点進路希望との比較>

	就労	進学・職業訓練	入所施設	障害福祉サービス事業所内訳									その他※3
				重度通所*1	生活介護	自立訓練*2	就労移行	就労A	就労B	作業所型	機能強化H	法人活H	
高1時点の希望	39.5%	7.9%	0.7%	1.3%	18.8%	0.4%	5.3%	0.9%	18.7%	0.7%	0.4%	3.4%	2.0%
高2時点の希望	37.1%	12.7%	0.8%	1.1%	15.2%	1.9%	8.4%	1.2%	15.8%	1.2%	0.9%	0.7%	3.0%
高3時点の希望	32.2%	11.3%	1.1%	0.9%	14.0%	2.4%	7.4%	0.9%	18.2%	1.5%	2.0%	4.3%	3.8%
進路結果	27.0%	13.6%	1.1%	1.3%	14.3%	2.8%	9.1%	0.4%	19.3%	2.4%	1.8%	3.5%	3.4%

* 1: 重度通所: 重度重複通所、* 2: 自立訓練: 機能訓練・生活訓練 * 3: その他: 在宅等

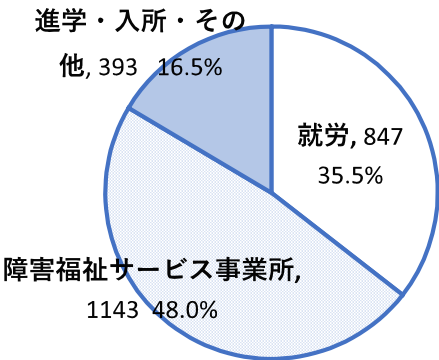
* 高 1～3 年生時点の進路希望は、令和3年度～5年度進路調査結果から抜粋。

- ・ 就労希望が増加しているが、就労の進路結果に関しては 27%と減少結果となっている。これは、就労移行が増加していることから在学中の選択肢が変化している。
- ・ 学年が上がるにつれ就労が減り、進学・職業訓練や就労移行、就労 B が増加傾向にある。就労以外の選択肢の幅の増加が影響していると推測できる。
- ・ 今年度は地活希望が増加している。報酬改定があり、受入枠が増加したことが背景にあると思われる。

3. 高校 1 年生から高校3年生までの進路希望

参照: 資料1－1 P7

＜令和6年度進路希望内訳＞ ＜事業種別内訳＞



	就労	進学・ 職業訓練	入所施設	障害福祉サービス事業所内訳									その他 ※ 3
				重度通所 * 1	生活介護	自立訓練 * 2	就労移行	就労A	就労B	作業所型	機能強 活H	法人活H	
高 1	34.8%	6.4%	0.6%	1.0%	15.8%	1.2%	6.2%	0.8%	20.0%	0.5%	0.4%	1.3%	11.0%
高 2	37.3%	6.6%	0.7%	1.2%	14.9%	3.6%	4.9%	1.5%	17.0%	1.2%	0.3%	1.0%	9.8%
高 3	34.6%	11.3%	0.3%	1.6%	16.2%	1.9%	6.2%	1.0%	17.3%	1.3%	2.3%	3.1%	2.9%

・ 昨年度と大きな変化はない。

＜高 1～高 3 居住区別人数と令和7年度新規受入人数＞

	鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	合計
高 1～高 3	181	123	41	89	119	144	130	217	88	116	176	153	145	139	205	83	133	101	2383
うち高 3	66	53	17	25	36	65	46	63	30	35	60	55	57	48	65	23	56	35	835
令和7年度 新規受入人数 * 4	146	209	97	308	82	111	117	113	159	81	222	141	90	220	214	41	278	148	2777
【内 訳】	障害者支援施設	1	0	0	0	7	5	1	0	0	7	0	1	3	0	0	4	0	29
	生活介護	30	16	10	4	19	37	46	31	17	29	45	29	38	34	11	83	34	545
	訓練	0	31	3	15	0	0	6	0	0	41	1	0	0	6	7	0	0	110
	就労移行	33	32	21	113	0	25	11	7	16	96	14	4	43	62	0	12	4	513
	就労A	15	28	5	11	5	0	0	12	0	4	6	7	10	0	0	0	7	110
	就労B	52	47	21	140	40	35	41	21	76	17	25	56	43	101	77	4	154	1020
	作業所型	10	15	15	17	7	3	15	11	6	3	2	0	8	4	0	12	4	138
	精神作業所型	0	35	20	3	10	0	1	15	30	12	16	2	17	27	14	4	14	236
	機能強活H	3	0	2	0	1	4	0	0	5	0	0	2	0	2	4	5	6	34
	法人型活H	2	5	0	5	0	5	1	0	0	5	1	2	0	2	1	4	9	42

* 4: 「令和 7 年度新規受入れ状況調査」から抜粋。【内訳】は週 1 名からの受入を含む。

- ・ 各事業所の新規受入人数は増加しているが、居住区によって差がある為に居住区外の事業所等を進路先に考える場合も多くなると予想される。また、並行利用や週 1 日利用も含まれるので週 5 日間通所が必ずしも利用につながるとは限らない。